

環境人材育成のための大学教育プログラム開発・実証委員会  
全体委員会 議事録

- 日 時 平成 22 年 3 月 24 日（水）9 時 30 分～9 時 55 分
- 場 所 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館（C 1 棟） 特別会議室
- 出席者 府立大学：奥野、安保、正木、寺迫、菅野、辻田、辻川、津戸、青山、林、山口  
関係行政機関等：吉田、谷本、辰田、辻尾、光岡、吉田、池田、寺島、中川  
プログラム開発・実証コア教員：大塚、北宅、横山、杉山、森岡、西岡、竹中  
対外機関とのコーディネーター：前田、坂東、山崎、小林、水谷  
事務局：竹本、増垣、船野、小川、北田、清水、川路、梅井

■議事次第

1. 開会挨拶
2. 新委員の紹介
3. 平成 21 年度の事業進捗状況及び平成 22 年度の事業計画
4. その他

■配布資料

- 資料 1：開発・実証委員会設置要綱
- 資料 2：プレゼンテーション資料
- 資料 3：平成 22 年度事業計画（案）
- 資料 4：「環境人材育成のための教育プログラム」（履修案内）
- 資料 5：履修案内パンフレット

■議事概要

- 奥野（理事長・学長）が議長役となり、開会。
- 冒頭、奥野から、本プログラムの進捗状況や委員会の役割、詳細は全体委員会の後の小委員会で詰めることになっている、等の説明。
- 北田（総合調整室参与）から、新委員を紹介。
- 大塚（大学院工学研究科教授／エコ・サイエンス研究所長）から、以下の内容について説明。
  - ◇本プログラムの平成 21 年度の実施状況、平成 22 年度の予定や計画
  - ◇副専攻「環境学」、「国際環境活動プログラム」の内容
  - ◇進捗状況として、パンフレットを作成して、学生への周知を進めていること
  - ◇平成 23 年度に JICA の草の根技術協力事業と連携して、ベトナムに学生を派遣する予定であること
  - ◇「堺エコロジー大学」との連携を図っていくこと
  - ◇シンポジウムは来年度も開催を予定しており、フィードバックをしてプログラムの改善を図ること

（主な意見等）

- 教育プログラムの英語版を作成してはどうか。

→英語版は既に作成しており、まもなくホームページに掲載予定。

○環境学という体系的な学問がない状況でのチャレンジであり、今回のプログラムは人材育成を目的として構築し、大学改革へのリーディングになる。

○学問体系として「環境学」についてもまとめてほしい。

○初年度のため学生がどの程度履修するか分からず、仮に履修希望者が多い場合、抽選になってしまうという不安がある。

○副専攻は気楽に取れるものではないという気概で取り組んでほしい。環境は学問として非常に面白いものであるということを学生に理解してほしい。

以上（敬称略）